

外国人労働者を雇用される方のための
パンフレット解説

**農作業事故防止
ここがポイント**



一般社団法人 日本農村医学会



はじめに

この小冊子は、パンフレット「農作業を安全にするために」（厚生労働省委託事業）について、農作業事故の実態に合わせて解説したものです。



まだ日本では一般的になっていない「ヘルメットの着用」や「傾斜地の小段の設置」などの提案をし、外国人労働者の安全を確保するだけでなく、みんなで日本の新しい農作業安全を考える内容となっています。

雇用主だけでなく、新規就農者や事故の多い高齢者にも、ご活用いただければ幸いです。

パンフレット解説「農作業事故防止 ここがポイント」 目次

I. 農作業事故の発生状況	2
II. 農作業安全の進め方	3
III. パンフレットの解説	4
1. ルールを守りましょう	4
2. 整理・整頓しましょう	4
3. 日頃の体調管理のために	6
4. 体調が悪いときには、遠慮せず相談しましょう	6
5. 正しい服装と必要な防護をしましょう	8
6. 草刈機（刈払機）を安全に使うために	10
7. 耕うん機を安全に使うために	12
8. 高いところの作業では	14
9. 脚立作業のときには	14
10. 腰痛予防のために	16
11. 熱中症予防のために	18
12. 畑作・園芸作業のときには	18
13. 果樹作業のときには	20
14. 畜産作業のときには（酪農・養豚・養鶏）	20
15. 農薬を安全に使うために	22
16. ケガをしたときには	22
17. 悩み事は抱え込まず相談しましょう	24
18. 体調が悪いとき、どんな症状ですか	26

パンフレットのなかにある「困ったマーク」 は悪い例、「にこにこマーク」 は良い例を示しています。

この表記方法は、韓国農村振興庁の農作業安全啓蒙資料から、振興庁のイ・キョンスク室長のご好意で使わせていただきました。

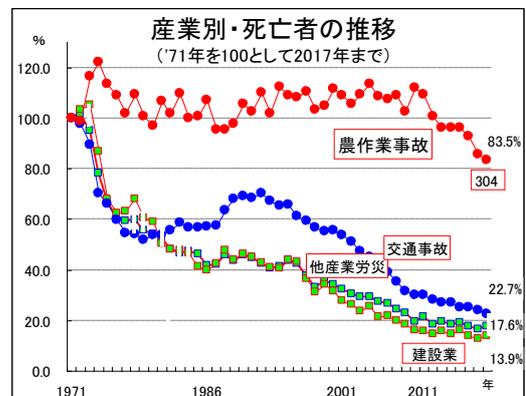
I. 農作業事故の発生状況

1. 減らない農作業死亡事故

農水省の統計によると、農作業事故による死亡は、毎年 300～400 人で、ここ 50 年間ほとんど減っていません。この間、他産業の労災では、建設業で 14% まで減少しています。

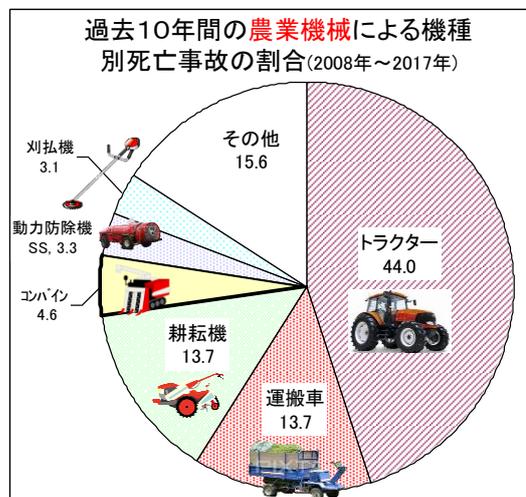
これは他産業では、事業主の責任が問われ労働安全衛生法などで法的に厳しく規制されてきたからです。

農業ではこれらの規制がないため、減少につながっていません。



2. 農機による死亡事故の7割はトラクター、耕うん機、運搬車

農業機械による死亡事故のトップはトラクター、次いで耕うん機・運搬車です。



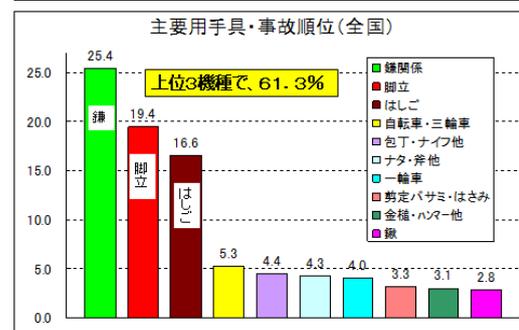
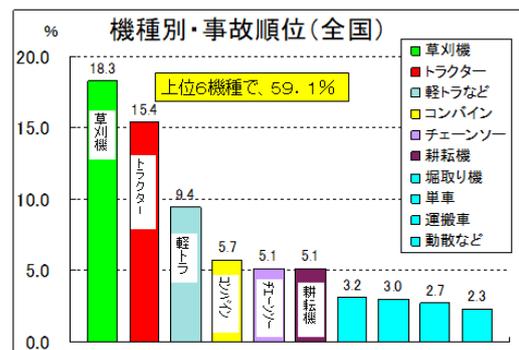
3. 集中して事故が発生している農機具がある

2000 年の全国 1 道 8 県の農作業事故調査で、10,600 件の事故があり、農機具の事故では、右の図のように一番多いのは草刈機(刈払機)、次いでトラクター、軽トラック、コンバイン、チェーンソー、耕うん機と続き、上位6種で6割を占めています。

農具では、鎌、脚立、はしごの順で多く、この3種で6割を占めています。とくに、脚立やはしごでは転落などで重大事故になっていることもあります。

また、農機具や農具を持っていないときにも事故は起こっています。

あぜ道を歩いていて、転倒した、転落した、障害物にぶつかった、などで、これらは全体の3割を占めています。



上位10種で88.6%、上位5種で71.2%を占める

Ⅱ. 農作業安全の進め方

「人はミスをする」を前提に対策を
「～に注意しましょう」では事故は防げない

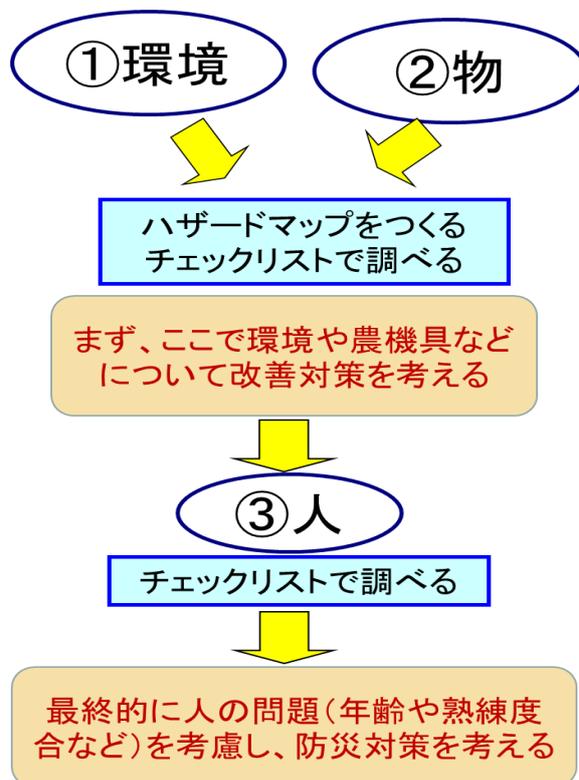
他産業では、「人はミスをする

ことを大前提」に対策を立てています。しかし、農作業の現場では、事故が起こったとき、「注意しなかった者が悪い」とされてしまいますが、これでは事故は防げません。「注意しなくても事故が起こらないように

すること」が大切です。まず、危険な「環境」「農機具」の安全対策を行い、次いで残ったリスクについて、手順を決めてリスクを回避することが大切です。そのために、第1の「環境」では、作業現場の危険箇所を明らかにし、ハザードマップを作成し、そのハザードマップをもとに、環境改善（路肩・昇降路の急傾斜・急斜面に小段を設ける、作業場に照明を設置する、安全柵や安全標識を設置するなど）を行うことです。

第2の「農機具」では、むき出しの回転部分にカバーをする、面取りができていないところにはゴムカバーをする、バックミラーを設置するなどです。

第3の「人」については、年齢や作業への熟練度合などを考慮し、事故を防ぐための改善が大切です。それでも防げない事故が起こる場合は、その作業そのものを止める、他の方法に変えるなどの決断も重要です。外国人労働者の場合は、とくにこうした対策が重要です。



① ルールを守りましょう

わざいすす かた ちゅうい しこう りかい
作業の進め方や注意事項を理解する



じこ ひせ せつめい き
事故を防ぐために説明をしっかりと聞く



わからないことは積極的に質問をする



たが あんぜん
お互いに安全をチェックする



ひ
火をあつかうときのポイント



め はな
目を離さない



しょうかよう みず ようい
消火用の水を用意する

② 整理・整頓をしましょう



ころ かたづ せいり
転ばないように片付け、整理をする



どうぐ
道具がどこにあるかすぐにわかる

Ⅲ. パンフレットの解説

1. ルールを守りましょう

外国人労働者のなかには、「説明」などを静かに聞くことの習慣がない方もいます。また、日本語を十分に理解できない方もいます。作業の手順や安全のためのルールを守ることは、事故防止の基本です。



作業中、**身振り、手振りの「サイン」**を交えることで意思の疎通（ルールの伝達）をすることもあります。国によって手でのサインの意味が異なります。事前に「サイン」を決め、確認をしておきましょう。

移動手段としての自転車による交通事故が懸念されます。国によっては交通ルールが緩い国もあり、一旦停止、信号遵守、横断の仕方などのルールの厳守が大切です。



2. 整理・整頓をしましょう

他産業では、右の表のように、**3S（整理、整頓、清掃）**活動が作業安全の基礎として推進されています。

例えば同じ物（鋏、鎌など）が複数個ある場合は**ナンバー（番号）をつけておく**と、圃場に忘れてきたりした場合でも、元の位置になれば、直ぐに分かります。

また、整理・整頓をすることで、つまずきや転倒などの事故を防ぐことができます。

さらに、清潔にする、ルールをきちんと守ることに

3S活動

整理(Seiri)、整頓(Seiton)、清掃(Seisou) = 3S
* 整理・整頓することで、無駄な物や足りない物、また、整備不良のものが一目瞭然になります。

牛舎・豚舎・鶏舎などを清潔に保つことは、感染症を防ぐ基本中の基本です。また、決められたルールを作業員全員が守ることで、危険を回避することができます。



より、農作業事故防止につながります。

3 ひごろ たいちょう かんり **日頃の体調管理のために**

睡眠

よあそ よ 夜遊び・夜ふかしをしない

睡眠

すいみん しっかり睡眠をとる

服装

さむ ふせ ねっしゅうよう よぼう 寒さを防いだり、熱中症を予防するために、気温に合わせて服を選ぶ

食べもの

ふくつう お かろうせい のやま かって た 腹痛を起こす可能性があるので、野山のを勝手に食べない
こよう めし そうだん 雇用主に相談をする

4 たいちょう わる えんりよ そうだん **体調が悪いときには、遠慮なく相談をしましょう**

ふくつう げり 腹痛・下痢

はつねつ 発熱

せき

ひふ いじょう 皮膚の異常

だるさ

無理しちゃうダメだ

むり 無理しちゃうダメだ

たいちょう わる むり 体調が悪いときは無理をしない

熱があります

ねつ 熱があります
いっしょに ひょういん 一緒に病院に行きましょう

たいちょう わる えんりよ そうだん 体調が悪いときは遠慮せず相談をする

3. 日頃の体調管理のために

1. しっかり睡眠をとる

夜更かしなどせず、規則正しく適切な睡眠時間をとることが大切です。また、起床して太陽の光を浴びることで、睡眠のリズムが整います。そのために、清潔な寝具などにも配慮し、質の良い睡眠をとるようにしましょう。



2. 季節にあった服装を着用する

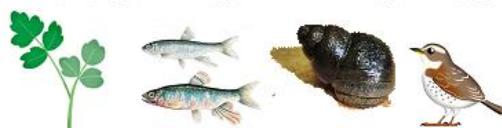
外国人労働者の出身国によっては、気象条件が異なります。日本では四季や、また作業内容に合った服装をするように気配りが大切です。



3. 食べ物に気をつける

外国人労働者は、出身国の文化や宗教によって、食べられる食品が制限されていたり、私たちの食べないものが食品になることがあります。また、「野菜嫌い」の人もいますので、心配りが必要です。とくに、田んぼのタニシや、川の魚や野山の草などを食材として取ってきて食べることもあり、食中毒になった事例も報告されています。

「野菜」、「魚」、「タニシ」、「鳥」



野山で取ってきて食べる

取ってきた物が食べることができるか、雇用主に相談するように伝えてください。

4. 体調が悪いときは遠慮せずに相談しましょう

元気な人でも、慣れない日常生活や気候により体調不良になることがあります。

来日した外国人の方のなかには、右のような症状を訴えた方が多く報告されています。いずれも症状は軽かったのですが、これらの症状のなかには重篤な病気が隠れている場合があります。

外国人労働者の方に体調について聞くと、「迷惑がかかってはいけない」、「少しでも稼ぎたい」という思いから、「大丈夫です」と答える方がいます。

早期の手当や治療で重篤化や慢性化を防ぐことができます。体調不良や症状について、遠慮なく相談できる人間関係が大切です。

皮膚: 虫刺され、かぶれ、紫外線 など
かぜ: 発熱、インフルエンザ
腹痛: 食あたり、下痢、便秘
体調不良: 原因不明
腰痛: 作業姿勢、ぎっくり腰 など
* 早期治療で重篤化を防ぐことができる

5 正しい服装と必要な防護をしましょう

正しい服装

垂れたひも、はみ出したタオル、とめていないそで口は機械に巻きこまれる

垂れたひも / はみ出したタオル

とめていないそで口

垂れたひも

垂れたひも

作業に応じた保護具
草刈機(刈払機)の場合

ヘルメット

防塵メガネ

耳栓・イヤーマフ

手袋

すね当て

騒音による聴力低下

振動による手指のしびれ

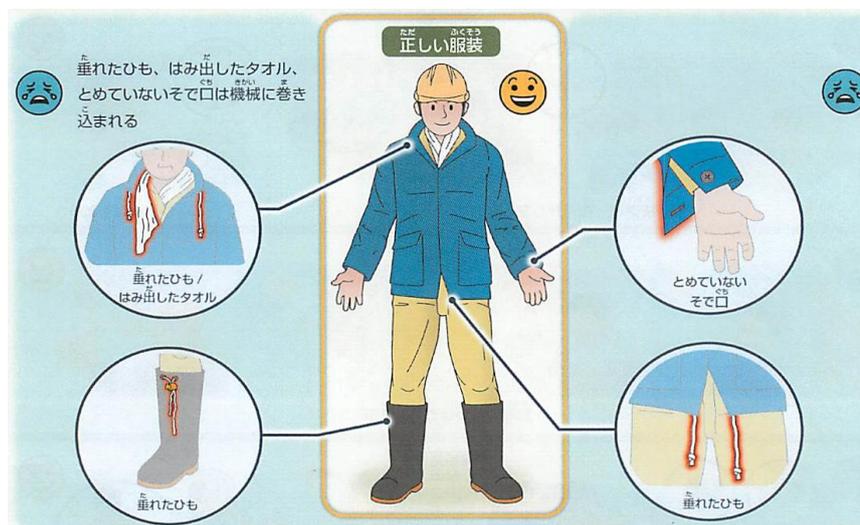
危険から身を守るために保護具をつける

5. 正しい服装と必要な防護をしましょう

乱れた服装は、巻き込まれなどの重大な事故につながる

乱れた服装は、機械への巻き込まれや引っかかりの原因となります。

首から垂れたヒモやタオル、長靴の垂れたヒモ、とめてない袖口、上着の垂れたヒモなどがなく、確認しましょう。



必要な防護を確実に

作業の内容や使う農機具などの危険性に応じて、適切な衣服や防護具を使用し、危険から身を守ることが大切です。

草刈機での作業:フェイスガード、脛当て、手袋、胸当て、耳栓、安全靴・スパイク靴など

農薬の散布作業:カッパ(通気性のよいもの)、長靴、農薬散布用マスク、ゴム手袋など

ヘルメットは、農作業ではまだ一般的ではありませんが、事故や怪我から「頭を守る」ことはとても重要なことです。個人個人の体格に合わせ、**マイヘルメット**を用意しましょう。



右図のような**耳栓**は、高い周波数の音をカットしてくれます。騒音性難聴を予防するだけでなく、低い音、例えば話し声などはよく聞こえてきます。

大きな音の出る機械を操作するときや、その周辺での作業に有効です。

この耳栓は、洗って繰り返し使うことができます。いつもポケットに入れておき、必要に応じて装着してください。

高い周波数の音を遮断する、 イアウイスパー



騒音性難聴を引き起こす、高い周波数の音をカット
4個入り約350円

6 草刈機(刈払機)を安全に使うために



しゃめん くさか
斜面の草刈りを
おこな
行うとき



こたん りよう あしもと ふ かた しせい あんてい
小段を利用したり、足元を踏み固めるなどして姿勢を安定させる



くさ ひそ せけん
草むらに潜む危険



さぎょうまえ しょうがいぶつ と のそ
作業前に障害物を取り除き、
構築物を確認する



ふくすうにん さぎょう
複数人で作業するとき



ふたり いじょう さぎょう たが じゅうぶん きょり
2人以上での作業はお互い十分に距離をとる



は くさ から
刃に草が絡まったとき



めんどう かなら と
面倒でも必ずエンジンを止める

6. 草刈機(刈払機)を安全に使うために

草刈機の主な事故

草刈機の事故で最も多いのは、土手や傾斜地などで「作業姿勢が不安定」で滑ったり、転倒して骨折、刃で手足を切るなどの事故です。次いで多いのは「刃の回転により」回転刃がキックバックしたり石やチップが飛んで体に当たる事故です。さらに作業前に草むらの危険物などの「環境を確認せず」に起こった事故や「エンジンを止めずに」刃に詰まった草を取ろうとして急に回転した刃で体を切るなどの事故です。その他「他人を巻き込んだ」事故や「整備中」にも事故が起っています。



①最も多い斜面での事故とその対策

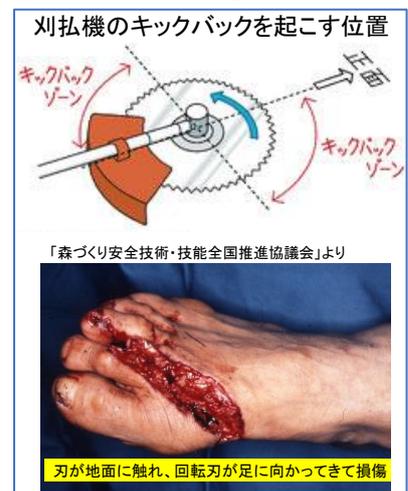
法面や斜面の草刈り時に、転倒しないよう斜面で姿勢を保とうとして踏ん張ったとき、転倒したり用水に転落する事故が多発しています。

このような事故を防ぐため、斜面に**事前に小段を設けたり**、靴にスパイクを装着などして、足が滑らない工夫が大切です。



②値段が高くても安全な回転刃を使用する

回転刃に埋め込まれているチップが取れ、目に入ったり体に突き刺さる事故が多く起っています。特に値段の安い刃はチップが取れやすく、「安い刃で十分」、「切れなくなったら刃を交換すればいい」では作業者の安全は守れません。**失明した眼や損傷した体を取り替えることは出来ません。安全な刃の準備が大切です。**



③刃のキックバックゾーンは使わない

回転刃が地面に触れると回転刃がキックバックし足を損傷します。草刈機の使用前には必ず、キックバックゾーンなどを使わないように、事前の研修が大切です。

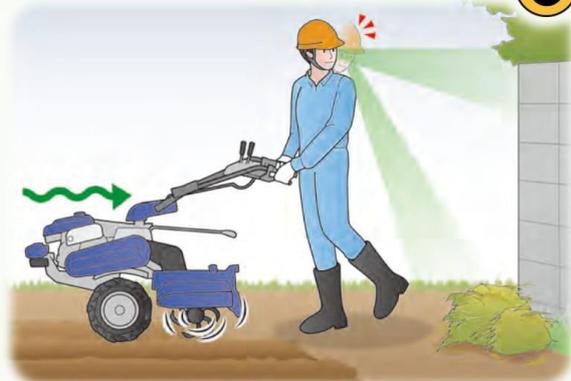
7 耕うん機を安全に使うために



後退するとき



後方を確認しないと、ちょっとしたものにもつまずく



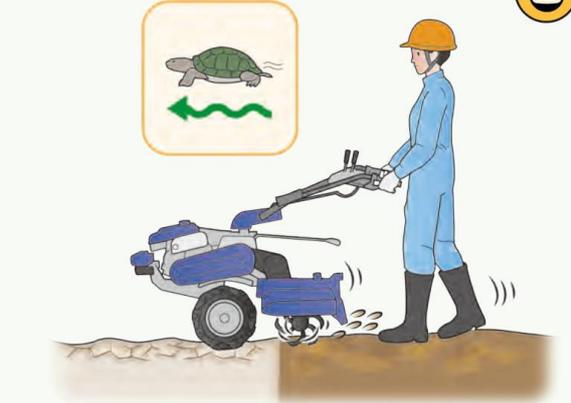
後方の足もとをしっかりと確認し、異物があれば除去する



固い土のとき



早い回転で耕すと耕うん機が急に動く



ゆっくり回転させて耕す



耕うん機を運ぶとき



軽いと思って無理をしない



ブリッジを使って積み下ろしをする

7. 耕うん機を安全に使うために

耕うん機の主な事故

①バック時に転倒、押しつけ

耕うん機作業では「**後退・バック**」が常に必要です。これは他の農業機械にはない特徴です。人間は後ろに目がなく、かつ足が十分上がらず、ほんのちょっとした高さの物にでも躓き、転倒し、回転する刃に巻き込まれます。また、後ろの立木や格納庫、ハウスの壁に押しつけられ多くの死亡事故も起きています。

作業時に耕うん機をバックする時には、必ず後を確認する手順をしっかりと身につけることが大切です。



耕うん機のバック時は、**背後の「立ち木、建物、足下を確認」**を！



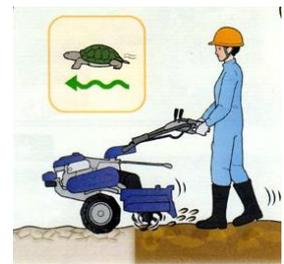
②固い土で、ダッシング・キックバック

固い土を耕うんすると、ロータリーが土をおこさず、地面の表面をロータリーで走る、いわゆるダッシングが起こります。また、固い土にぶつかり、突然後退するキックバックが起こります。

固い土は、ゆっくりと耕すことが大切です。

③耕うん機の積み降ろし

最近の耕うん機は小型であり、つい軽いとあなどり安易に抱えて移動しようとして腰を痛めたり、ロータリーに巻き込まれる事故が起こっています。重量物と同じ手順を守ることが大切です。（項目10参照）



8 たか 高いところの作業では さぎょう

高いところでは必ずヘルメットをかぶる



9 きやたつさぎょう 脚立作業のときには



脚立から身を乗り出さない



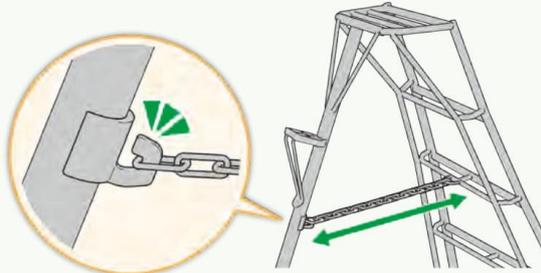
片手で重いものを持って昇り降りしない



天板に乗らない



両足で体重をかけて踏み込み、脚立を安定させる



開脚防止チェーンをかける

8. 高いところの作業では

少しでも高いところでは、ヘルメットを着用する

他産業では、「2 m以上」での作業は高所作業と定義し、さまざまな対策をとることを義務づけています。(右図)

また、1 mの高さでも命に関わるとして、少しでも高い所の作業は、全て高所作業対策を行っています。

1m(イチメートル)は一命をとる
1mの高さでもいのちに関わる

ヘルメットを着用していれば助かった、あるいは軽傷で済んだと思われる事故事例はたくさんあります。

軽トラの荷台から転落し意識不明になった事故も発生しています。雇用主が率先してヘルメットを着用することが大切です。

他産業での高所作業への備え

- ・2m以上の高所での作業では、作業ができる面(床)を設け墜落防止の処置をとる
- ・ヘルメットを着用する
- ・墜落が考えられる場所には安全冊を設置する

1.5m以上の高さの昇降には、手すりの設置が必要

労働安全衛生法・労働安全衛生規則

9. 脚立作業のときには

農地には、水平面はほとんどありません。

脚立を安定に保つため図の①と②は必須の手順です。

また、作業中の③④⑤は脚立が不安定になる行為であり避けてください。

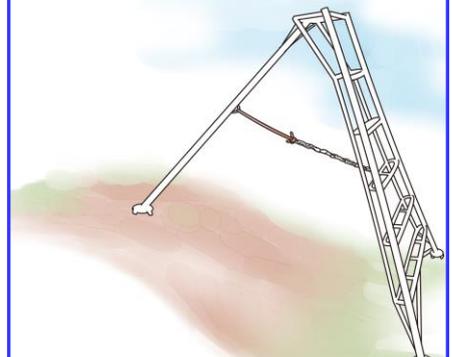
脚立作業は、高所作業です。ヘルメットを必ず着用する。

①脚立を設置する時、最初に一番下のステップに乗って、トントンと踏み込む



この時、がたつく様だったら、少し場所を変えて、再度トントンを試みる

②開脚防止用チェーンを掛ける



短い場合は、延長の紐・チェーンを掛ける

③天板に乗らない



- ・適切な長さの脚立を用意する
- ・樹高を低くする

④上り下りの際、重い物を持たない工夫をする



⑤あと、もう一個だけ、と身乗り出さない



脚立を移動し、直上直下で作業を

10 ようつうよぼう
腰痛予防のために



せなか まも あ
背中を曲げて持ち上げると
腰に負担がかかる

にもつ も かた
荷物の持ち方

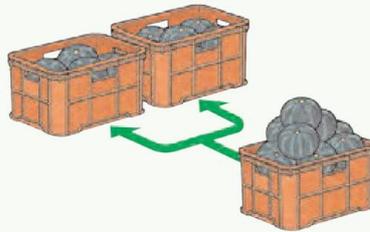


こし お にもつ からだ ひ
腰を落とし、荷物を体に引きつけて
持ち上げる



むり はこ
無理をして運ばない

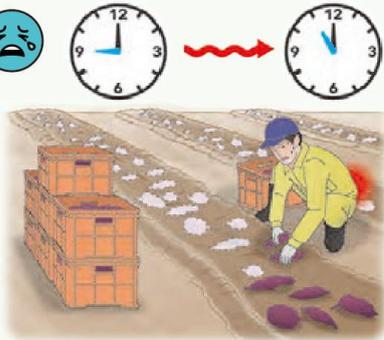
おもい もを
重いものを運ぶときは



こわり はこ
小分けして運ぶ



ふたり はこ
2人で運ぶ



おな しせい つづ
同じ姿勢を続けない

さぎょう
作業のローテーション



さぎょうしせい く あ あいま
いくつかの作業姿勢を組み合わせ、合間にストレッチをする



こし いた かん
腰に痛みを感じたときは



こようめし そうだん そうま じっしん
雇用主に相談し早期に受診する



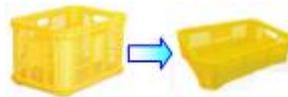
10. 腰痛予防のために

① 重い物を運ぶときには

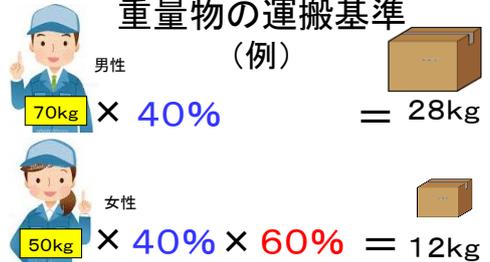
国が定めた腰痛予防のガイドラインでは、男女別に右図の基準が決められています。この基準を超えない重さのコンテナや荷姿になるようにする必要があります。

重い時は、

- (1) 効率が下がっても、コンテナを小さくする。
- (2) 小分けする
- (3) 2人で運ぶ。
- (4) 機械力を使う



労働衛生の考え方による、重量物の運搬基準



男性体重70kgの場合、その体重の40%をかけた28kg、女性体重50kgの場合、男性の係数の40%にさらに60%をかけた12kgが重量物運搬の上限の重さとなる。



② 腰に負担をかけないために

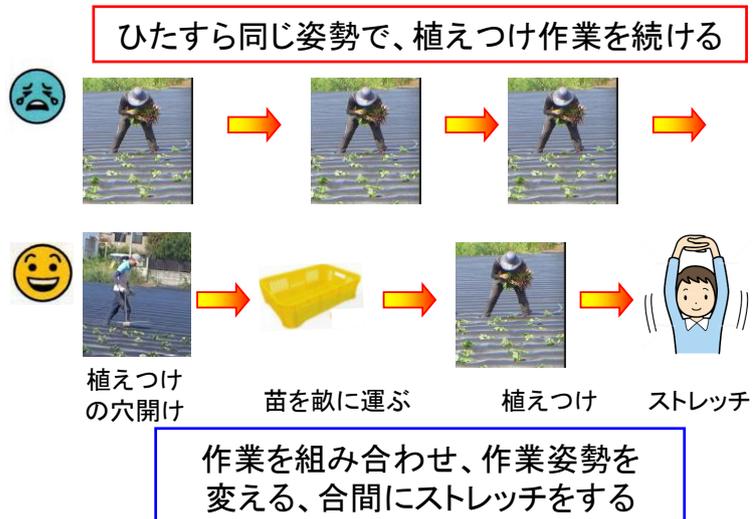
① 腰を下ろし、荷物を引きつけ、背筋を伸ばして持ち上げる。

* 腰を伸ばして持ち上げる姿勢は、腰に何倍もの負荷がかかります。また、いちいちしゃがむと効率が悪くなりますが持続的に作業を続けるには、こちらの方が効率的です。

② 同じ作業を続けず、いろいろな作業姿勢を組み合わせ、ときどきストレッチをする。

「同じ作業を終了し、次の作業に移る」方が、一見効率的に思えますが、長時間の作業では、腰を痛め、かえって非効率的です。

いろいろな作業を組み合わせ、ときどきストレッチをして、腰に負担をかけない工夫をしましょう。



* 腰痛の訴え

腰痛には、内蔵疾患由来の重篤な病気が隠れていることがあります。また「もみほぐしていい、悪い」、「冷やすほうがいい」、「温めるほうがいい」などいろいろな場合があり、一度は医療機関を受診してください。



11 ねっちゅうしょう よぼう
熱中症予防のために

すいぶん かつた
水分のとり方



いちど おお みず の よぼう
一度に多く水を飲んでも予防にならない



のど かわ
喉が乾かなくても
こまめに水・塩をとる



ひ づく くふう
日かげを作る工夫をする



12 はたさく えんげい さぎょう
畑作・園芸作業のときには

しせい らく くふう
姿勢が楽になる工夫をする



おおがたのう き しゅうへん さぎょう
大型農機の周辺作業



うんてんしゃ
運転者(オペレータ)から見えない位置に近づかない



ちか
近づくときは運転者(オペレータ)に合図をする



11. 熱中症予防のために

① 熱中症の指標、「暑さ指数」を活用

**気温だけでなく「暑さ指数」を測定
熱中症発症の危険性を示す指標**



熱中症の危険を示す指標として「暑さ指数」が用いられています。気温だけでなく、湿度、輻射熱の効果も勘案した指標です。気温と同じく、「度」で示されます。「暑さ指数が28度」を超えると急激に熱中症患者が増えることが報告されています。その「暑さ指数」を測定する器具が「熱中症計」です。1台約数千円です。熱中症予防のため、1台常備されてもいいと思います。

出身国により、暑さに慣れていない人もいます。そのような人には、一般的な注意喚起以上の具体的な指示が必要です。また、なかには「日焼け」を避けるために、厚手の長袖を着る外国人労働者の方もいますので、熱中症の危険性を十分に伝えることが大切です。

さらに、生活する宿舎や作業所内、ハウス、牛舎など室内でも熱中症が発生することを念頭に置いた対策が必要です。

熱中症は、暑い時季のみに発生するのではなく、特に日差しが強くなり気温が次第に高くなる5月頃から発生

します。体が熱さに慣れていないことにより起こると考えられており、早い時期からの対策が大切です。

自覚症状の有無にかかわらず、こまめに水分・塩分を摂る。
喉が渴いてからの水分補給は、遅すぎる！
日陰を作る工夫を、日常の体調管理、「暑さ指数」低減の工夫

② 熱中症の症状と対処方法

熱中症は、単に「疲れからかな？」と思うような症状から始まります。例えば足の筋肉の「こむら返り」などです。

軽度の場合は、しばらく様子を見る程度ですが、意識がもうろうしたり、意識がなくなった場合は、迷わず救急車の手配が必要です。

熱中症の症状と対処方法			
	I度(軽度)	II度(中度)	III度(重度)
程度と症状			
	手足のしびれ めまい、たちくらみ 筋肉のこむら返り 気分が悪い、ボーッ	頭ががんがん 吐き気、吐く だるい 意識もろろ	意識がない 体が引きつる まっすぐ歩けない 体が熱い
対処	涼しい場所に移動、体を冷やす、水分・塩分補給		
	様子を見る	医療機関に連れて行く	緊急受診 救急車手配

13 果樹作業のときには



しゅうかくぶつ うんぱん
収穫物の運搬をするとき



できるだけ機械の力を使う

14 畜産作業のときには

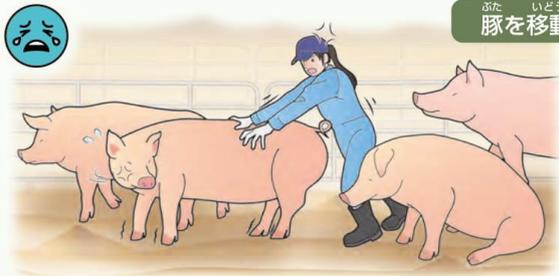


うし ちか
牛に近づくとき

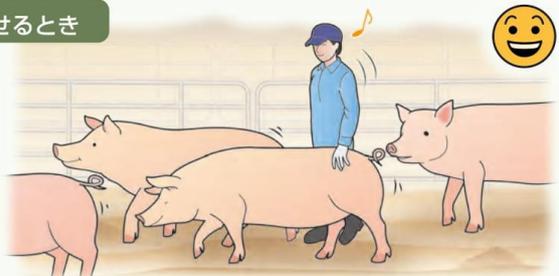


はいご きゅう ちか
背後から急に近づかない

こえ をかけながらやさしく近づく



ぶた いどう
豚を移動させるとき



いや ぶた もり お
嫌がる豚を無理に押さない

うご ぶた じゅんばん ゆうどう
動く豚から順番に誘導する



ようけいじょう
養鶏場で



おな しせい つづ
同じ姿勢を続けない

きゅうけいじ
休憩時にストレッチをする

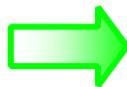
12・13. 畑作・園芸・果樹作業のときには

腰痛予防のために作業方法の工夫を

畑作や園芸、果樹作業時にとくに問題になるのは「腰痛」です。
腰痛発生の作業は、下記のとおりですが、人力でがむしゃらに作業を行うのではなく、出来るだけ人力に頼らない工夫をまず行うことが大切です。



- ・重い物を持つ、運ぶ、引く、押す
- ・前かがみ、しゃがむ、腰を捻る



- ①重い物を持たなくてもいい工夫
- ②機械力を最優先

* 機械力：運搬車、フォークリフト、リフト車など、さまざまな運搬用機器が開発されているので、それらを使う。

しゃがみ姿勢での腰への負担を解消するため、さまざまなグッズが出ています。



14. 畜産作業のときには

<酪農>

牛の視力は、0.04～0.08と極めて弱い
いきなり近づくと牛は排除行動を取る
牛舎を出来るだけ明るくする

牛の視力は極めて弱いので、いきなり近づかないようにします。



酪農作業におけるチェックリスト

I. 搾乳作業

- ① 暴れ牛について、作業者が分かっている
- ② 発情や病気牛が分かっている
- ③ 牛に近づく時、声かけとスキンシップをする
- ④ 咄嗟の時の待避出来るよう位置を確保

II. 牛の移動

- ① 移動経路に段差がない
- ② 移動経路が広く、障害物がない
- ③ 牛が暴走や逆走した場合の待避場所を確保
- ④ 日頃からスキンシップしている
- ⑤ 牛を驚かさなため、牛の死角に入らない

<養豚>

移動時には、動きやすい豚から動かします。

<養鶏>

採卵時には同じ姿勢が続くので、ストレッチを取り入れます。

15 のうやく あんぜん つか 農薬を安全に使うために

のうやく さんぷん ぶんぷん 農薬を散布する ときの服装

マスク/ゴーグル、長袖、ゴム手袋を着用する

混ぜるときは、道具を使う

ながくつ まと だ 長靴の外に出す

すで のうやく ま 素手で農薬を混ぜない

のうやく さんぷん あと 農薬を散布した後は

よご たべ 汚れた手で食べない

め 目をこすらない

て あら 手洗い

うがい

せんがん 洗顔

からだ あら 体を洗う

ふく あら 服を洗う

16 ケガをしたときは

だいじょうぶ かって ほんだん ほうち 大丈夫と勝手に判断して放置しない

すぐに雇用主へ報告をする

15. 農薬を安全に使うために

① 農薬散布用の防護をする、手洗いを確実に



長靴・防水ズボンを
長靴の外に



農薬散布用マスク



希釈基準を守り、
素手で攪拌しない



散布後、入浴
固形石けんで洗う

散布中の農薬は、鼻、口、皮膚から吸収されますが、特に鼻から吸入すると直接肺に入り、毒性が強く現れます。そのため、漏れのない農薬散布用のマスクを使用し、**鼻からの吸入を徹底して防ぐ**ことが大切です。農薬を散布した後は、農薬を中和させるため固形せっけんで手や身体を洗ったり、服を洗濯しましょう。

② 農薬による事故

農薬を散布した後、**だるい、めまい**などの症状がでたときは、迷わず医療機関を受診させて下さい。その際「農薬名」「希釈倍数」「何時間散布したか」「作業内容」などの基本情報を医師に伝えることも大切です。

皮膚に重篤な障害を起こす農薬もあります。図の左はクロルピクリン、右は石灰硫黄剤による皮膚障害です。また、希釈する際に、比重の重い液剤を水の中に入れたとき、農薬が跳ねて目に入り、角膜損傷を起こした事例もあります。

いずれにしても、取り扱い手順を守って、事故を防ぎましょう。



堀内信之著「皮膚障害と農業・農村」

16. ケガをしたときには

① 一刻も早く雇用主に伝える

緊急事態が発生したときは、携帯電話で雇用主に連絡できるようにしておくことが大切です。どんなに**近い作業場でも携帯電話を携帯、マナーモードにはせず作業中でも着信音が聞こえるようにしておきます。**

ただし、農作業中、携帯電話を携帯しないことにしているところでは、**どのように緊急事態を伝えるかのルールを事前に決めておくことが大切です。**

17 ^{なや}悩みごととは抱え込まず ^{かか}相談を ^こしまし ^{そうだん}ょう



ひとり ^{なや}一人で悩まない



ひとり ^{かか}一人で抱え込まず ^こまわりの人に ^{ひと}相談をする

安全に農作業をするために (目次)

作業を始める前に ①～⑤

- ① ルールを守りましょう
- ② 整理・整頓をしましょう
- ③ 日頃の体調管理のために
- ④ 体調が悪いときには、遠慮なく相談をしましょう
- ⑤ 正しい服装と必要な防護をしましょう

作業で気をつけること ⑥～⑯

- ⑥ 草刈機 (刈払機) を安全に使うために
- ⑦ 耕うん機を安全に使うために
- ⑧ 高いところの作業では
- ⑨ 脚立作業のときには

- ⑩ 腰痛予防のために
- ⑪ 熱中症予防のために
- ⑫ 畑作・園芸作業のときには
- ⑬ 果樹作業のときには
- ⑭ 畜産作業のときには
- ⑮ 農薬を安全に使うために

困ったときは ⑯～⑰

- ⑯ ケガをしたときは
- ⑰ 悩みごととは抱え込まず相談をしましょう

^{けんこう}みなさんの健康と ^{あんぜん}安全が ^{わたし}私たちの ^{ねが}願いです



一般社団法人日本農村医学会受託 2020.3

②こんなときは

①蜂に刺された

農作業中の蜂刺されは、約半数が草刈り中です。

「過去に刺されても痛いだけだった、でも今回はだめの場合」もあります。突然、アナフィラキシー（呼吸困難など）になる場合があります。蜂に刺されたら、必ず雇用主に報告するようにしてください。

②頭を打った

頭を強く打って、脳外科などをすぐに受診して「大丈夫」と言われても、**硬膜下出血が起こっている場合、数か月後に症状**がでる場合があります。事故後の観察が大切です。特に、事故後頭痛、ふらつき、吐き気、嘔吐、意識障害が生じていないかの観察が大切です。

③ちょっとした切り傷、刺し傷でも

「これくらいの傷くらい」と放置していて、**破傷風など**になる場合もあります。少々の傷でも雇用主さんに報告するルールが必要です。

④蛇に咬まれた

日本の毒蛇の「ハブ」、「マムシ」、「ヤマカガシ」に咬まれたときに、口で**蛇毒を吸い出すのも有効ですが、口の中に傷などがあると、大変危険**です。まずは、**医療機関に連絡、急行**することが大切です。また、咬まれた蛇を見た場合は、その特徴を医療機関に伝えることも大切です。

17. 悩みごととは抱え込まず相談をしましょう

コミュニケーションを取って、悩みごとを気軽に相談できる環境を

遠く異国から来日して、慣れない環境での生活に悩むことも多いと思います。

悩みごとがあるときには、**気軽に相談できる人間関係、信頼関係**が最も大切です。

さまざまな場面で工夫をしてください。こまめな声掛けも有効です。

食事会、誕生会、地域へのイベントへの参加、同じ国の仲間同士の交流会、レクレーション等々
相談員を配置されている地域もあります。



18. 体調が悪いとき、どんな症状ですか

このページは、パンフレットのなかにはありませんが、体調が悪くなってしまったときの対応について、図で示したものです。

病院を受診するときに、母国語で、あるいは絵を指さしながら症状を医師に伝えてください。

中文 (中国語)	Filipino (フィリピン語)	Bahasa Indonesia (インドネシア語)	ภาษาไทย (タイ語)	日本語	English (米英語)	Việt Nam (ベトナム語)	हिंदी (ヒンディー語)
发烧	Lagnat	Demam	มีไข้	発熱があります Fever	①	Sốt	बुखार
咳嗽	Ubo	Batuk	ไอ	咳がでます Cough	②	Ho	खाँसी
流鼻涕	Sipon	Pilek	น้ำมูกไหล	鼻汁が出ます Runny nose	③	Chảy nước mũi	नाक का बहना
嗓子疼	Masakit ang lalamunan	Sakit tenggorokan	เจ็บคอ	喉が痛い Sore throat	④	Đau họng	गला दुखना
头疼	Masakit ang ulo	Sakit kepala	ปวดหัว	頭が痛い Headache	⑤	Nhức đầu	सरदर्द
耳朵疼	Masakit ang tainga	Sakit telinga	ปวดหู	耳が痛い Ear ache	⑥	Đau tai	कान में दर्द
肚子疼	Masakit ang tiyan	Sakit perut	ปวดท้อง	お腹が痛い Stomach pain	⑦	Đau dạ dày	पेट में दर्द
呕吐	Nagsusuka	Muntah-muntah	อาเจียน	嘔吐しています Vomiting	⑧	Nôn	उलटी
恶心	Nahihilo	Mual	คลื่นไส้	吐き気があります Nausea	⑨	Buồn nôn	मतली
没食欲	Walang ganang kumain	Tidak punya nafsu makan	ไม่อยากทานอาหาร	食欲がありません Lost appetite	⑩	Không ngon miệng	भूख का न लगना
腹泻	Nagtatae	Diare	ท้องร่วง , ท้องเสีย	下痢をしています Diarrhea	⑪	Tiêu chảy	दस्त
便秘	Nahirapan tumae	Sembelit	ท้องผูก	便秘をしています Constipation	⑫	Táo bón	कब्ज
出皮疹	Pantal sa balat	Gatal-gatal	มีผื่นคัน	発疹があります Rash	⑬	Phát ban	पित्तिका
过敏	Allergy	Alergi	มีภูมิแพ้	アレルギーがあります Allergy	⑭	Dị ứng	प्रयूर्जता (फैलर्जी)
哮喘	Hika	Asma	หอบหืด	ぜんそくがあります Asthma	⑮	Suyễn	दमा
抽搐	Nangingining	Kejang-kejang (penyakit ayan)	กล้ามเนื้อเกร็ง กระตุก	けいけんがあります Seizures	⑯	Cơn động kinh	दौरा पड़ना
流鼻血	Dumudugo ang ilong	Mimisan	เลือดกำเดาออก	鼻出血があります Nose bleed	⑰	Chảy máu cam	नकसीर
从__天前开始	Nagsimula ang sakit __ araw nang nakaraan	Mulai dari ____ hari lalu	เป็นมา ____วันแล้ว	____日前から Began ____ days ago	⑱	Bị từ __ ngày trước	____ दिन पहले शुरू हुआ

上記は「22カ国外国人来診小児科患者問診表」の使用許可を、編集責任者である向山秀樹先生（向山小児科医院院長）よりいただき抜粋して掲載させていただいたものです。